コンパクトスタジオキット　LHD-C470K　　取扱説明書

この度は「LHD-C470K2 コンパクトスタジオキット 28w」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。この説明書をご確認の上、末永くご愛用ください。

■お届け内容

①LHD-C470K／コンパクトスタジオキットNEW

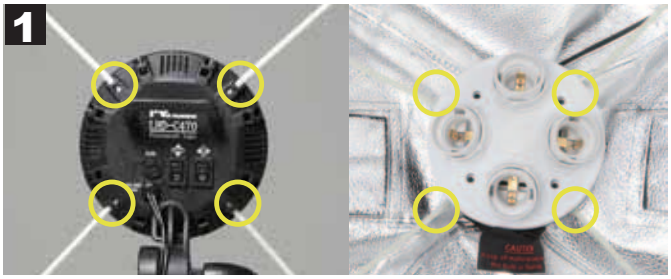
28wスパイラル蛍光管 8本
70～200cmライトスタンド(LS-2000)2本
LHD専用70×50cmソフトボックス2台
6.5kg

②LHD-C470／コンパクトスタジオキットNEW単体

28wスパイラル蛍光管4本
LHD専用70×50cmソフトボックス1台付属
1.5kg

■組み立て方法

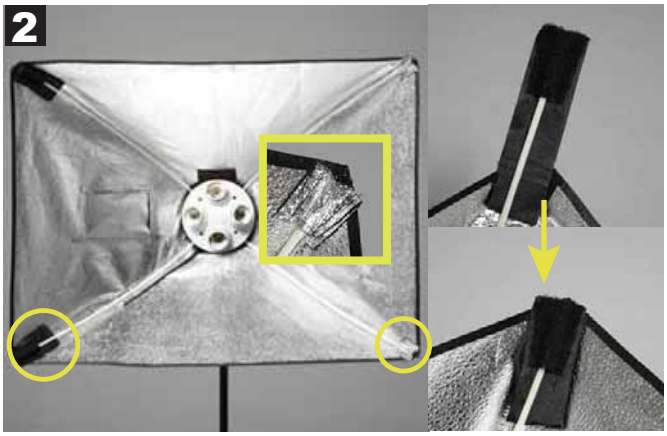
1



本体ソケット4カ所（丸印）にソフトボックスのスティックを差込んでください。

※長方形のソフトボックスの場合は、テンションのかかりかたが強くなり破損につながるので必ず②のソケットへ奥まできっちりと差し込んで下さい。

2

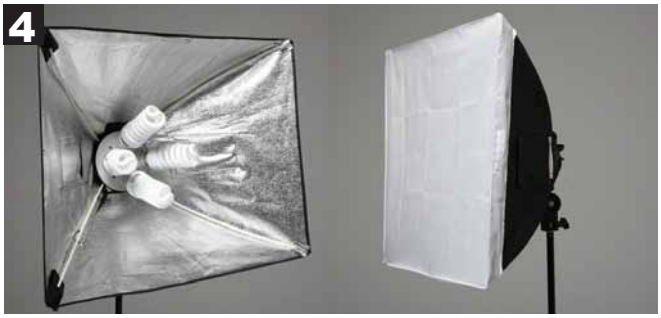


ソフトボックス（内面銀色、外側黒色）の四隅にスティックを差込みます。その際、テンションがかかりすぎないよう、2カ所のマジックテープが折畳式になっています。その部分を一旦伸ばしてスティックを差込み、改めて折畳んでソフトボックス本体を組立てます。
※ソフトボックス本体を引っ張るようにテンションをかけ、マジックテープを折畳みます。（取り外しの際も同じように折畳んだマジックテープを伸ばしてスティックを外します）

3

本体ソケットにソフトボックスが装着されたら、電球を取り付けます。
※スパイラル部分は触らないようにして、電球ソケット側のプラスティック部分を回します。
※交換用（予備）の電球は弊社で販売しております（ML-28/E27、ML-40/E27）をお奨めしますが、
市販の蛍光管（E-26/E-27と記載あるもの）も問題なくご利用いただけます。

4



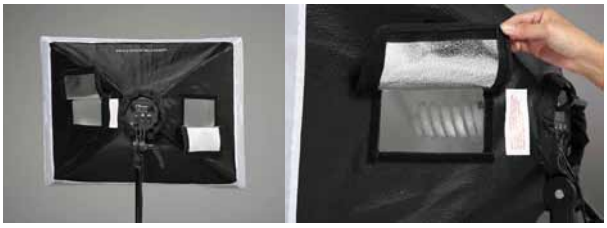
前面ディフューザーをソフトボックス本体に引っ掛けるようにして取付け、マジックテープ部分を張り合わせます。

5

本体をスタンドに装着します。

※スタンドの上部（ダボ部分）についている保護キャップを外し、ネジ山が露出した状態でセットしてください。
※角度を変える際にハンドルレバーが本体にあたる場合はハンドルレバーを引くことで空回りの状態になり、任意の位置に変えることができます。

6 ACコードをコンセントに差込み、スイッチを入れると点灯します。



※電球の寿命を維持するために、上と下の通気口を開けて、風通しを良くしてくださいください。ランプは 4 時間以上連続で使用しないでください。

★使用電源はAC-100V、50/60Hzでご利用ください。　★本機を分解、改造することは危険ですのでお止めください。
★本機の撮影用途以外でのご利用はお止めください。　★長時間の撮影では高温になることがありますので注意してください。
★使用しない場合はコンセントを抜いて保管してください。
★本機に使用されている蛍光管（ML-28/E27、ML-40/E27）は5000～5500Kとメーカー発表されていますが、正確にこれらの色温度を保証するものではありません。厳密な色温度を求められる場合は、非連続スペクトル光源対応の色温度計を使用しフィルター補正、テスト撮影されることをお奨めします。
★ACコードを抜き差しする場合、強く引っ張ったり、曲げないでください。断線の原因となり、接触不良をおこす危険があります。
★電源スイッチを入れたままACコードを抜き差ししないでください。突入電流が大きく、ショートする場合があり危険です。

Professional Photo Equipment
PROKIZAI.COM
20120629